

令和7年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第四小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%			○		
算数	58.0%	○				
理科	57.1%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%	○				
我が国の言語文化に関する事項	81.2%					○
話すこと・聞くこと	66.3%		○			
書くこと	69.5%	○				
読むこと	57.5%				○	

【考 察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができます。今後も、文章の中で適切に漢字を使おうとする習慣を身につけさせていきます。
- 「情報の扱い方に関する事項」と「書くこと」の領域において全国平均を下回りました。特に、「書くこと」の領域において、「事実と感想、意見とを区別して書く」ことに課題が見られました。今後は、授業の中で、自分の考えの根拠を書くことや、友達と書いた内容を推敲するなどの活動を取り入れ、課題の改善に取り組みます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%		○			
図 形	56.2%	○				
測 定	54.8%	○				
変化と関係	57.5%	○				
データの活用	62.6%		○			

【考 察】

- 基礎・基本の確実な定着を図るために、数値や式の意味について考えさせたり、適用問題の時間を確保したりするなど、指導の工夫を図ります。また、反復練習にも積極的に取り組ませていきます。
- 「変化と関係」の領域では、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見出す問題の正答率が全国平均を下回りました。日常の具体的な場面と関連づけて理解させるとともに、理解したことを友達に説明する活動を取り入れていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%				○	
粒 子	51.4%			○		
生 命	52.0%	○				
地 球	66.7%		○			

【考 察】

- 「エネルギー」の領域では、電流がつくる磁力について、電磁石の強さはコイルの巻数によって変わることが理解できています。今後も、実験などを行い、知識を獲得できるよう学習を進めていきます。
- 「生命」の領域では、ヘチマの発芽する条件や顕微鏡を操作するための技能の問題が全国平均を下回りました。実験結果を基に自分の考えを文章にまとめる機会を増やすとともに、実験器具の正しい扱い方を身につけられるよう、繰り返し指導していきます。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第四小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	32.6	49.1	15.3	2.8
6	白四小	33.3	50.0	10.0	6.7

(単位 %)

【考 察】

- 「よくある」「どちらかといえばできている」の割合が83.3%と高い割合でした。普段の授業からタブレットや本を活用しながら自分に合った学び方を選択し、課題解決に取り組んできた結果の表れです。
- どのように解決をしたらよいか学び方が分からない児童もいます。ICTの活用も含め、児童が主体的に学習を進められるよう、それぞれの児童が自分にふさわしい学習方法を模索できるような態度を育てていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7
6	白四小	0.0	26.7	43.3	16.7	10.0	3.3

(単位 %)

【考 察】

- 本校の「家庭学習の手引き」では、1時間以上の学習時間を目安としており、70%の児童が達成できています。しかし、1時間未満の児童も30%おり、「全くしない」という児童もいますので、家庭学習の大切さを理解させ、習慣化できるよう指導していきます。
- 家庭学習については、授業で学習したことと関連させながら、自主学習の仕方やノートの使い方等を指導していくとともに、児童自ら目標を設定し、計画を立て、学習を進め、自己評価を行う、自己マネジメント力を高めていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	3 1 . 2	4 8 . 2	1 7 . 1	3 . 3
	白四小	3 3 . 3	5 0 . 0	1 6 . 7	0 . 0

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が、83.3%と多く見られたことは、授業の終末で、自身の学びを振り返る時間を確保してきた成果であるといえます。
- 分からないことをそのままにしてしまう児童もいるため、自分の学習状況を把握できるよう励ましたり、支援したりすることで学習意欲を高めていきます。

4 学校に行くのは楽しいと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	4 9 . 9	3 6 . 6	9 . 1	4 . 3
	白四小	6 3 . 3	2 6 . 7	6 . 7	3 . 3

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が、90%と高い割合でした。本校で行っている楽しい学校生活を送るためのアンケート（Q-U）の結果と合わせて考察すると、担任や学級の友達との関係が良好であること、きまりが守られ、児童にとって居心地のよい安心して過ごせる学級であることが分かります。
- 毎週水曜日の構成的グループエンカウンター「豆がらっこタイム」で一人一人が互いに認め合う関係づくりを行うとともに、これからも学級力アンケートや教育相談等を通して児童の悩みや困り感に対して早期発見・早期対応できるようにしていきます。